

住民主体のまちづくり

No.52 2018. 5

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 小学校のサケプロジェクト

車尾小学校4年生は毎年、サケプロジェクトを実践する学年である。日野川に僅かながら遡上するサケの数を増やそうと、日野川水系漁業協同組合の協力を得て稚魚の育成と放流に取り組んでいます。秋に生まれたサケの卵（イクラ）200個近くを同漁協から譲り受け、昨年末12月18日（月）に飼育が始まりました。卵はいくつもの水槽に分け、光を避けるため黒い画用紙で覆って教室近くの廊下に置き、同漁協の担当者から、サケの生態や育て方などを丁寧に教えてもらいました。子どもたちは、教えをしっかりと覚え、日々成長を続ける卵や稚魚を夢中になって育てました。毎日水温を測り、卵や稚魚の状況を観察して日誌に記録しました。「卵の間は、ちょっとした振動や光でも死にます。水温が18℃以上になってもダメでみんなで気をつけました。」「サケは体を傷つけながら土を掘って卵を産み、死んでしまう。その分自分たちが大切に育てたい。」子どもたちの記録から真剣さが伝わります。今年



預かった卵はすべて無事ふ化した。

3月22日（金）、体長5cmほどに育った稚魚を日野川河川敷に運び、4年生全員で放流しました。放流したサケが、川に帰ってくるのは3、4年後といわれる。



自分たちのまちは自分たちで（ つくる つなぐ つづける ）

■ 災害に強い地域づくり支援

鳥取県中部地震からの復興を促進し地域を元気にするとともに、災害に強い地域づくりを推進するために、自ら取り組む、NPO、ボランティア団体、住民団体、企業、各種産業団体など多様な主体が実施する様々な活動を支援するため、「震災復興活動特別支援事業補助金」の交付を希望する団体の募集があり、車尾地区防災安全推進協議会が採用されました。これから当協議会では、コミュニティの強化による災害に強い地域づくりのための取り組みとして、

- ①防災訓練等も交えた防災イベントの開催
- ②防災の啓発に係る研修会等の開催
- ③日常的な高齢者世帯の見守り体制の構築

という3つの事業が考えられます。

地域のみなさん！ぜひ参加してください。



いざとなったら訓練が役立ちます。



給食サービスも大事な見守り活動です。